

ティファール スチームアイロン

## アルティメット

製品番号 FV9751J0

1800147048



### 目次

安全上のご注意.....	2	ジェットスチームを 使うときは.....	18
各部の名前とはたらき.....	7	バーチカルスチームを 使うときは.....	19
絵表示の見方と温度の関係.....	8	使い終わったら.....	20
衣類に表示されている 取り扱い絵表示.....	8	お手入れ.....	22
温度設定目安表.....	8	本体のお手入れ.....	22
水漏れ防止機能.....	9	かけ面のお手入れ.....	22
自動オフ機能.....	9	セルフクリーニング.....	23
ご使用の前に.....	10	水あか防止バルブの クリーニング.....	26
使い方.....	12	故障かなと思ったら.....	28
ワンタッチスプレー（霧吹き）を 使うときは.....	16	仕様.....	33
スチームアイロンとして 使うときは.....	17	アンケートのお願い.....	34
		製品保証.....	35

# 安全上のご注意

- ご使用の前にこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。また、本書はいつでも見られる場所に保管してください。
- ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、ご使用になる皆様や周りの方への危害や損害を未然に防止するためのものです。誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。



**警告**

誤った取り扱いをしたときに、  
人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容



**注意**

誤った取り扱いをしたときに、  
人が損害を負う可能性及び物的損害が想定される内容

各注意事項には、「注意」「禁止」「強制または指示」を促す絵表示（記号）がついています。



発火注意



強制または指示



分解禁止



禁止行為



感電注意



接触禁止



電源プラグをコンセントから抜く

## 警告



### 電源は、一般家庭用 100V、50-60Hz を使用する

間違った電圧への接続は、アイロンに損害を与える可能性があり、保証は無効となります。



### 使用中、電源プラグ／電源コードが異常に熱くなるときは、直ちに使用を中止する

ショートや発火する恐れがあります。



### 修理技術者以外の人、絶対に分解したり修理・改造は行わない

発火したり、異常作動してけがをすることがあります。



### 子供だけで使わせたり、乳幼児の手の届くところで使用しない

やけど・感電・けがをすることがあります。



### 濡れた手で、電源プラグの抜き差しをしない

感電の恐れがあります。



### コンセントについて

- 単独でコンセントを使用する
- 2口コンセントの場合は、片方の差し込み口を空けたままで使用する
- 延長コードを使用する際は、定格 15A のものに単独で使用する

コンセントや電気コードが発熱し、発火することがあります。



本機器は安全に責任を有する人物が本機器の使用について監督または適切な指示を与えないかぎり、身体的、感覚的または精神的に低下している（子供を含む）、および経験または知識を持たない人物による使用をしない

やけど・感電・けがをすることがあります。

## 安全上の注意 (続き)



### 電源プラグは根元まで確実に差し込む

差し込みが不完全の場合、感電や発熱による火災の原因になります。  
傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないでください。



### 電源プラグのほこりなどは定期的に取りのぞく

プラグにほこりなどがたまると、湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。プラグを抜き、乾いた布で拭いてください。



## 注意



### 電源プラグを抜くときは、電源コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜く

感電・ショート・発火の原因になります。



### 電源コードを差した状態で、アイロン本体から離れない



### 電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいとき、通電したりしなかったりするときは、使用しない

感電・ショート・発火の原因になります。



### 電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、たばねたりしない。また、重いものを載せたり、挟み込んだりしない

電源コードが破損し、火災・感電の原因になります。

損傷したコードの修理は弊社修理センターにご連絡ください。



### 熱いアイロンにコードを巻き付けない

ショート・発火の原因になります。



万が一、本製品を落としてしまったり、明らかな損傷があったり、水漏れしたり、正しく動作しない場合は本製品を使用しない。その際、本製品は分解しない。

危険ですので弊社修理センターにご連絡ください。



本体を水につけたり、水をかけたりしない



ジェットスチームボタンを連続して速く押さない

湯滴漏れによるやけどの原因になります。



高温部（本体のかけ面など）には手を触れない

やけどのおそれがあります。

また、使用中あるいは使用直後は、絶対にコードがアイロンかけ面に触れないようにしてください。



使用时以外は電源プラグをコンセントから抜く

けが・やけど、絶縁劣化による感電・漏電火災の原因になります。



給排水時は、電源プラグをコンセントから抜く

感電の原因になります。



熱いスチームに触れない

やけどの原因になります。



アイロンかけの際は、アイロンを傾けたり、前後にはげしく動かさない

湯滴が出て、やけどの原因になります。



湿った衣類（霧吹きした衣類）は、ドライでアイロンかけをする

湿った衣類にスチームでアイロンかけをすると湯滴が出て、やけどの原因になります。

## 安全上の注意 (続き)



本製品には、回収・リサイクルできる材料を使っています。  
各地域のごみ収集所に出してください。



### 水をこぼさない

本体下部よりあふれた水が漏れ出ることがあります。(感電の恐れあり)

- ※ この製品は一般家庭用です。通常のご使用以外の目的に使用したり、業務用として使用するのをおやめください。業務用使用、不適切な使用または使用方法を守らなかった場合に関して、製造者は一切の責任・保証を負いません。
- ※ 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴がやけどの原因になります。十分にご注意ください。
- ※ 本製品は必ず屋内で使用してください。

## お願い

アイロン内部にピンや針金を入れないでください。✕ 

故障の原因になります。

コートや毛足の長い衣類は、かけ面を離してスチームをかけてください。皮革製品・絹などには使用しないでください。



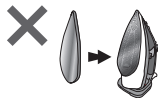
衣類を傷める原因になります。

高級品や特殊加工品などには、目立たない所にためしがけをしてください。

### 特にご注意

ベルベット、アクリル、ナイロン、カシミアなど

市販のかけ面アタッチメントを取りつけて使わない



誤動作の原因になります。

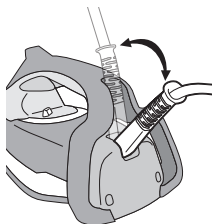
# 各部の名前とはたらき

## ワンタッチスプレーボタン

アイロンの先端から霧状の水を出します。▶▶▶ 16 ページ

## イージーコードシステム

アイロン本体からコードを遠ざけることにより、手元の衣類とコードのからみを軽減します。



## 自動停止安全ランプ

## ジェットスチームボタン

ジェットスチームやバーチカルスチームを使うときに押します。▶▶▶ 18 ページ「ジェットスチームを使うときは」

## 水あか防止バルブ 取り外しボタン

## スチーム切り替えレバー (水あか防止バルブ)

スチームのオン/オフを切り替えます。

▶▶▶ 14 ページ

## 注水口カバー

水を入れるときに開けます。

▶▶▶ 12 ページ

## サーモスタットランプ

かけ面の温度が適温になると消灯します。

## 水タンク

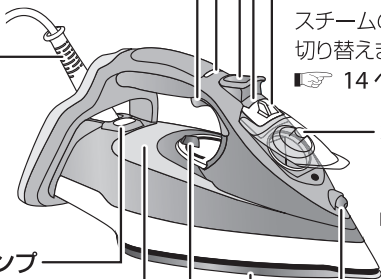
## 温度設定レバー

かけ面の温度を設定します。

▶▶▶ 14 ページ

かけ面





ワンタッチスプレーノズル



# 絵表示の見方と温度の関係

衣類に表示されている取り扱い絵表示






(一部参考例)

	高温でかけてください。		低温でかけてください。
	中温でかけてください。		アイロンかけはできません。

※ その他「スチーム禁止」「あて布使用」などの表示があれば、その表示に従ってください。

温度設定目安表

(かけ面の温度はドライアイロン使用時の温度)

繊維	温度設定レバーの位置	スチーム切り替えレバー	かけ面の温度* (目安)	繊維製品の絵表示 (かけ面の温度)
合成繊維 アクリル・ナイロン・ ポリエステル・ アセテートなど	合成繊維	 ドライで ご使用ください	約 80℃～ 約 115℃	 (約 110℃)
絹・毛	絹・毛		約 125℃～ 約 155℃	 (約 150℃)
綿・麻	綿・麻		約 175℃～ 約 205℃	 (約 200℃)

 : ドライゾーン  : スチームゾーン

※ あくまでも、かけ面の平均温度であり、状況により温度は異なります。

## アイロンかけは順序よく

アイロンは熱くなりやすく冷めにくいので、アイロンかけは低温に適した布地から高温のものへと順番にかけます。

複数の繊維が混じている場合、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。また、熱に弱い繊維（合成繊維・絹・毛など）にアイロンをかけるときは、ためしがけをしてください。

※ アイロンかけの前に衣類を分けておくと能率的です。



**注意**

念のために衣類の目立たないところでためしがけをすることをお勧めします。



## 水漏れ防止機能

かけ面の温度が設定温度に達していないとき、かけ面のスチーム穴からの水漏れを自動的に防止する機能があります。

水漏れ防止機能が働くと、かけ面の温度が十分な温度に達するまでスチームは出なくなります。

### お願い

- 水漏れ防止機能は、スチームアイロン使用時に働く機能で、ジェットスチームやバーチカルスチーム使用時には働きません。
- 14 ページを参照し、ジェットスチームを使用する際は、温度設定レバーを「:」～「Max」の場所にセットし、バーチカルスチームを使用する際は、温度設定レバーを「Max」にセットしてください。
- 連続使用する際は、少なくとも 4 秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。

## 自動オフ機能

- 通常使用時は、自動停止のランプは点灯しています。
- プラグをコンセントに差し込んだまま、立てた状態で 8 分以上、かけ面を下にしたまま、またはアイロンを横倒しにしたまま 30 秒以上放置しておく、自動的に電源が切れ、自動停止安全ランプが点滅します。
- アイロンを再スタートさせるには、ランプが点滅しなくなるまでアイロンを揺すってください。
- 自動停止安全ランプが点滅している間は、サーモスタットランプはオフになります。

### 自動オフ機能が働くまでの時間

アイロンを立てた状態	8 分間
アイロンを寝かせた状態	30 秒



## ご使用の前に

この取扱説明書をよくお読みください。

ラベル類が貼られている場合はアイロンを加熱する前に、かけ面からラベル類を剥がします。

### 初めてアイロンをご使用になる際は…

以下の症状が出る場合がありますが、異常ではありません。症状がひどくなる場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いてお客様相談センターにご連絡ください。

かけ面と本体の間から白っぽい煙が出て多少臭いがすることがありますが、異常ではありません

製造工程中に使われる樹脂に含まれている水分が熱を受けて蒸気となって出てくるため、煙と臭いが発生するものです。

この煙は無害で、また数回ご使用いただくと出なくなります。

ごくまれにスチーム穴から粒や粉などが出てくる場合がありますが、異常ではありません。

アイロン内蒸気発生タンクには、セラミックの表面加工が施されています。この表面加工の微量の粉がタンク内に残ってしまっているためですので、初期のご使用の際には、10回ほどジェットスチームボタンを押して蒸気を出してからご使用ください。気になる場合はセルフクリーニングもおこなってください。(23 ページ)

ジェットスチームをご使用の際は、湯滴漏れにご注意ください。

初めてアイロンをご使用になる際や、長期間スチームをご使用にならなかった場合はセルフクリーニングをおこなってください。

23 ページの「セルフクリーニング」を参照してください。

## ご使用にあたっての注意事項

**スチームアイロンには、水道水をご使用ください。**

軟化水、解凍水、ミネラルウォーター、リネンウォーターなどを加えた水などはご使用にならないでください。アイロンのスチーム穴が詰まったり、布地のシミの原因となります。

**のりづけやスプレーは、必ずあて布をしてアイロンをかけてください。**

のりづけ（スプレーのりも含む）、柔軟剤のすすぎ残り、すべりを良くするスプレーなどはかけ面の汚れ（こげつき）だけでなく、大切な布地の汚れにもつながります。そのような場合は必ずあて布をしてアイロンをかけてください。

**温度設定は正確にしてください。**

8ページの「絵表示の見かたと温度の関係」を参照して、必ず繊維に合った温度設定をしてください。複数の繊維が混じっている場合は、最も熱に弱い繊維に温度をセットしてください。正しい温度設定をしないとかけ面の汚れ（こげつき）や衣類を傷める原因になります。

**温度設定使用中や使用後、アイロン内部から金属音がすることがありますが、異常ではありません。**

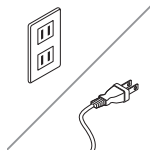
アイロン内部にある水漏れ防止用のバイメタル（金属）が、かけ面の温度変化によって機能することにより発生するものです。

# 使い方

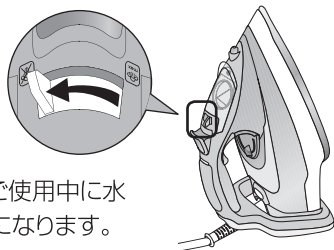
## 1 水タンクに水を入れます。

(スチームやワンタッチスプレー（霧吹き）を使う場合のみ)

- ① 電源プラグがコンセントに接続されていないことを確認します。



- ② スチーム切り替えレバーを「**蒸**」に合わせます。



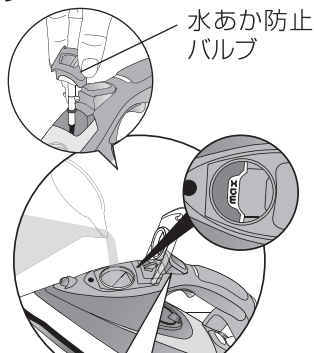
※ 「**蒸**」に合わせないと、ご使用中に水漏れ、湯滴漏れする原因になります。

- ③ 注水口カバーを開け、水タンクの max マークまで水を入れます。

※ 水あか防止バルブがセットされていることを必ず確認してください。

※ 水は max より入れすぎないように注意してください。水漏れの原因になります。

※ 電源プラグ、コード、アイロン本体に水がかからないようにご注意ください。



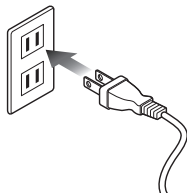
スチームボタンを押さないように注意

④ 注水口カバーをしっかりと閉めます。

**!** 注意

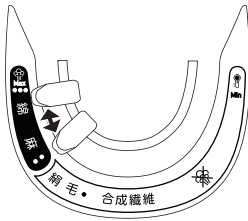


- 本製品は、水道水を使用して動作するように設計されていますが、定期的にセルフクリーニング（23ページ「セルフクリーニング」）をおこなってください。
- 水漏れ、シミ、製品の早期摩耗の原因になることがありますので、衣類乾燥機の水、リネンウォーター、軟水、冷蔵庫・バッテリー・エアコンの水、雨水、煮沸／濾過された水、ミネラルウォーター、これらの水はご使用にならないでください。
- 注水時、ジェットスチームボタンを押さないでください。水漏れ、湯滴漏れの原因になります。

**2** 電源プラグを100Vのコンセントに差し込みます。



## 使い方 (続き)

### 3 温度設定レバーとスチーム切り替えレバーをセットします。

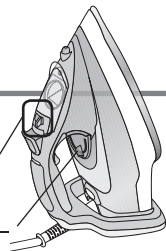
	ドライアイロンとして 使うとき	スチームアイロンとして使う、 またはジェットスチームを使うとき
温度設定レバー	繊維の種類に合わせて温度設定します。	「●」～「Max」の場所にセットします。 
スチーム切り替えレバー	「☼」マークに合わせて。 	「☼」マークに合わせて。 

#### ！ 注意

- 温度設定レバーを「合成繊維」または「絹」にセットしたときは、スチーム切り替えレバーを必ずドライ「☼」にセットしてください。セットしないと、湯滴漏れの原因になります。
- 温度調整レバーがかたい場合は、スチーム切り替えレバーをドライ「☼」に合わせてください。

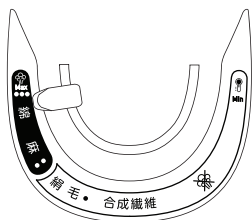
スチーム切り替え  
レバー

温度設定レバー



### バーチカルスチームを使うとき

「Max」の位置にセットします。



「❦」または「☁」どちらでも  
使用できます。

### お願い

かけ面は熱くなりませんが、  
「Min」でも通電しているので、  
使用時以外は電源プラグを  
抜いてください。

### 長期間スチームをご使用になら なかったときは…

以下の手順で、スチーム穴と  
内部に付着したほこりなどを排  
出してください。

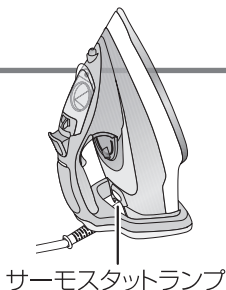
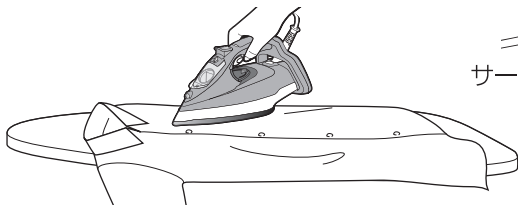
- 1 温度設定レバーを「MAX」  
にセットします。
- 2 サーマスタットランプが消  
えたら、かけ面を下にして  
アイロンを浮かし、ジェット  
スチームボタンを押してス  
チームを出します。



※ 初めてご使用になるときは  
アイロンの温度を調節して  
からスチームが出るまで多  
少時間がかかることがあり  
ます。その場合、ジェットス  
チームボタンを10～15回  
程押してください。

## 使い方 (続き)

- 4** サーモスタットランプが消えたら、  
使用を開始します。

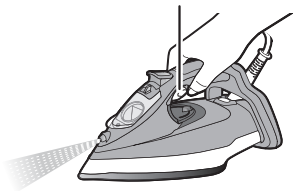


- かけ面に汚れがないことを確認してください。

### ■ ワンタッチスプレー（霧吹き）を使うときは

ワンタッチスプレーボタンを押すと、ワンタッチスプレーノズルから霧状に水が出ます。ドライアイロンとして使用しているときでも、水タンクに水が入っていれば使えます。

ワンタッチスプレーボタン



※ 使い始めは出にくいことがあります。

その場合、ワンタッチスプレーボタンを10～15回程度押してください。



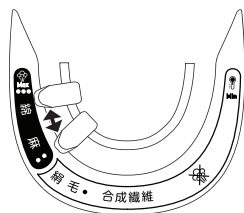
**注意**

絹にはスプレーしないでください。布地を傷めることがあります。



## ■ スチームアイロンとして使うときは

温度設定を必ず「●」～「Max」の場所にセットします。  
低い温度に設定されていると湯滴漏れの原因になります。



- 初めてご使用になるときはアイロンの温度を調節してからスチームが出るまで多少時間がかかることがあります。
- スチーム量を最大にするときは、温度設定レバーを「Max」に合わせてください。
- スチームを出すときは、サーモスタットランプが消えていることを確認してください。
- アイロンかけの途中で注水した場合は、かけ面の温度が下がっていますので、設定温度まで達してサーモスタットランプが消えてから、アイロンをかけてください。
- スチーム量は設定温度に合わせて自動調整されます（オートスチーム機能）。

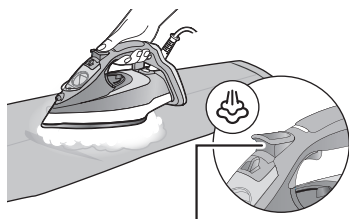
### ! 注意

- 使用中スチームや、万が一漏れた湯滴でやけどしないように、アイロン台下に体（足や太もも）がこないように注意してください。
- アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどする原因になります。十分に気をつけてください。

## 使い方 (続き)

### ■ ジェットスチームを使うときは

一度にたくさんのスチームを出したいときは、ジェットスチームボタンを押してください。強力なスチームは、がんこなシワ取りに効果があります。



ジェットスチームボタン

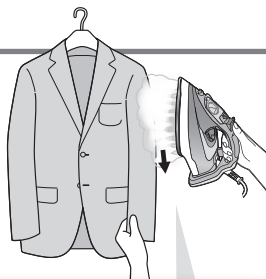
- 温度設定を必ず「☉」～「Max」の場所にセットしてください。
- サーモスタートランプが点灯したら、消えるまで待ってから使用してください。
- ジェットスチームを使うときは、水タンクに水を入れてください。
- 温度設定レバーを「麻」にセットしたときに一番パワフルにスチームが出ます。
- 連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。

● 温度設定レバーを「合成繊維」「絹・毛」にセットしたときは、ジェットスチームを使用しないでください。湯滴漏れの原因になることがあります。

- !** **注意** ● 自分の体や生き物にスチームを使用しないでください。また、アイロン台によっては、透過したスチームや湯滴でやけどの原因になります。十分に気をつけてください。

## ■ バーチカルスチームを使うときは

衣類をハンガーにかけて、布地のシワ取りをしたい部分を片手でピンと引っ張ります。



衣類をハンガーにかけたままシワを取ったり、カーテンのシワを取りたいときに使います。

ジェットスチームボタンを繰り返し押しながら、アイロンを上から下に移動させます。

- 温度設定を「Max」にセットしてください。
- サーモスタットランプが点灯したら、消えるまで待ってから使用してください。
- バーチカルスチーム量が減ってきたら、一度アイロンを水平にし、再度バーチカルスチームを使用してください。
- 水量が少ないと出にくくなります。
- 連続使用するときは少なくとも4秒間あけてください。湯滴漏れの原因になります。
- ドライアイロンとして使用していても、水タンクに水が入っていて温度設定が「●」～「Max」であれば、バーチカルスチームが使用できます。

### ！ 注意

- 衣類を身につけたまま、アイロンやスチームをかけないでください。やけどの原因になります。
- スチームは非常に高温なので衣類は必ずハンガーにかけてください。

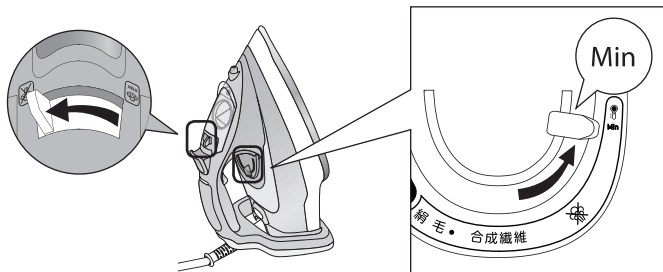
### お願い

熱に弱い繊維が焦げるのを防ぐためアイロンを衣類から数センチ離してください。

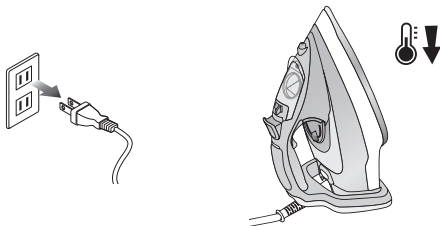
# 使い終わったら

**お願い** 必ず水タンクから水を捨てて保管してください。水を入れたまま保管すると、水漏れの原因になることがあります。

- 1 温度設定レバーを「Min」に、スチーム切り替えレバーを「」にセットします。



- 2 電源プラグを抜き、かけ面が冷めるのを待ちます。



**!** 注意

サーモスタットランプが消えていることを確認してから電源プラグを抜いてください。

### 3 アイロンのかけ面が冷めたら、 水タンクの水を捨てます。

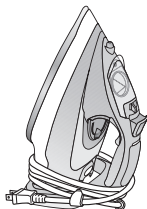
※ タンクの構造上、完全に水を抜くことはできませんが、少量の水の残留は、製品保管上問題ありません。



### 4 電源コードをアイロン下部に巻き付け、 電源コードクリップで留めます。

かけ面のキズ防止、水もれ防止のため、必ず立てた状態で保管してください。

※ コードはきつく巻きすぎないようにしてください。断線の原因になります。



※ コードの根元が過度に折れ曲がった状態でアイロンを保管しないようにしてください。



#### ! 注意

- スチーム切り替えレバーを「**蒸**」にセットしていないか、かけ面が冷める前に水を抜こうとすると、湯滴漏れの原因になりますのでご注意ください。
- アイロンは冷めてから、立てた状態で保管してください。

# お手入れ

**!** 注意 水道水でじかにアイロンを洗わないでください。

お願い

- アイロンの電源プラグを抜き、冷めるのを待ってからお手入れしてください。
- 研磨剤やシンナー、ベンジンは使用しないでください。

## 本体のお手入れ

やわらかい布で拭いてください。

がんこな汚れには濡らした布に中性洗剤を含ませてこすり、拭き取ってください。



## かけ面のお手入れ

本製品の「オートクリーンかけ面」は触媒作用を利用し、アイロン使用中に発生するかけ面上の不純物を取り去る働きをします。

しかし通常の使用状態でない場合（不適切な水や柔軟剤など）、かけ面上に汚れが残る場合があります。

汚れが付いたときはすぐに取ってください。そのまま放置すると、汚れが取れにくくなり布地を汚す恐れがあります。

また、汚れが付いていると、かけ面のすべりを悪くします。

かけ面は、ぬるま湯を含ませたナイロンスポンジで定期的に掃除してください。

頑固な汚れには、アイロンが冷めてから、よく濡らしたタオルの上にかけ面を下にして1時間程度置き、汚れをふやかします。その後、かたく絞った布でよく拭き取ってください。それでも汚れが取れない場合は、水を含ませたナイロンスポンジでこすってください。

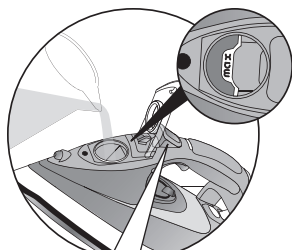
アイロン内部にたまった汚れを取り除くため、セルフクリーニングをおこなってください。（使用する水質や、使用頻度にもよりますが、1ヶ月に1回の目安でおこなってください。）スチーム穴の目詰まり防止に効果的です。

**1** スチーム切り替えレバーを「**❄**」にセットします。

**2** 水タンクの max マークまで水を注ぎます。

（12 ページ「水の入れ方」参照）

**3** 電源プラグをコンセントに差し込みます。



スチームボタンを押さないように注意

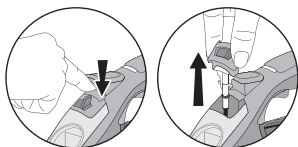
**4** 温度設定レバーを「max」にセットします。

**5** アイロンを立てた状態で、サーモスタットランプが消えるまで待ちます。

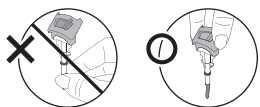
**6** サーモスタットランプが消えたら、電源プラグを抜きます。

## お手入れ (続き)

- 7** シンクなどの上でアイロンを水平に持ち、  
水あか防止バルブ  
取り外しボタンを押して  
ドライ／スチーム切替  
レバーごと引き抜きます。

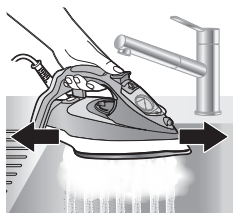


- このとき、水あか防止バルブ本体の先端を手で持たないようにしてください。
- スチーム切り替えレバーをドライ「幾」に合わせ、温度調整を Min にすると簡単に取り外せます。



- 8** 蒸気（および不純物）がスチーム穴から排水されるまで、  
シンクの上でジェットスチームボタンを押しながら、  
アイロンを前後に  
軽く振ります。

- 十分に汚れをとりたい場合は、もう1度繰り返します。

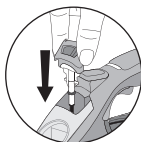


**注意**

- アイロン本体とかけ面の間から熱い蒸気やお湯が出ることがあります。十分にご注意ください。
- お湯が出た場合は、ジェットスチームボタンを離し、アイロン本体を前後に軽く振りながら、お湯が止まるのを確認してから、アイロン本体を立ててください。



**9** 十分に蒸気を排出したら、  
水あか防止バルブを元の  
位置にセットします。



カチッと音がするまで押して固定してください。

**お願い**

水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。お手入れの際は、忘れずセットしてください。

**10** かけ面が冷めてから、  
やわらかい布でアイロンを拭きます。

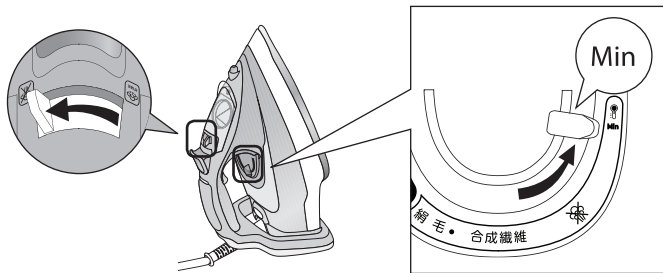
# お手入れ (続き)

水あか防止バルブのクリーニング

目安：数ヶ月に1回

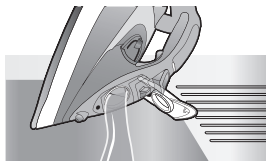
水あか防止バルブを数ヶ月に1回の割合で掃除することで、いつも安定した最大限のスチーム効果が得られます。

- 1 温度設定レバーを「Min」に、スチーム切り替えレバーを「」にセットします。



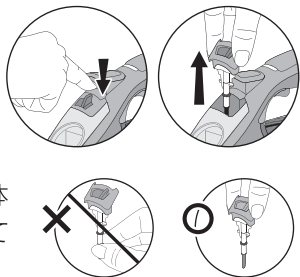
- 2 電源プラグをコンセントから抜き、かけ面が冷めるのを待ちます。

- 3 水タンクに入っている水を捨て、水タンクを空にします。

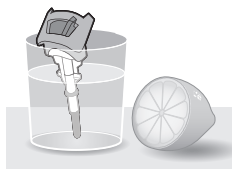


## 4 水あか防止バルブ 取り外しボタンを押して ドライ／スチーム切替 レバーごと引き抜きます。

- このとき、水あか防止バルブ本体の先端を手で持たないようにしてください。



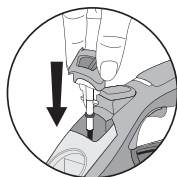
## 5 バルブの先端を3～5倍に 薄めた酢、またはレモン汁 に4時間程度浸します。



## 6 バルブの先端を 水道水ですすぎ洗いします。

## 7 水あか防止バルブを 本体に戻します。

カチッと音がするまで押して  
固定してください。



### お願い

水あか防止バルブが完全にセットされていないと、アイロンは正しく作動せず、スチームが出ない、水漏れ、湯滴漏れなどの原因になります。  
お手入れの際は、忘れずセットしてください。

# 故障かなと思ったら

## 状況 アイロンが熱くならない

考えられる原因	対処方法
温度設定レバーの位置が正しくない。	温度設定レバーの位置を目的の繊維の位置に合わせてください。
きちんと電源プラグが入っていない。	電源プラグをきちんとコンセントに差し込んでください。



## 状況 スチームが出ない、または十分ではない

考えられる原因	対処方法
初めて使用する。	初めて使用する場合、スチームが出るまで時間がかかることがあります。 → 23 ページ
スチーム切り替えレバーが「蒸」にセットされている。	スチーム切り替えレバーを「☁」にセットしてください。
温度設定がスチームゾーンになっていない。	温度設定レバーを「●」～「Max」の間にセットしてください。 → 14 ページ
水タンクが空になっている。	水タンクに水を入れてください。
水漏れ防止機能が働いている。	かけ面が適温に達するまでお待ちください。
スチーム穴が詰まっている、または長時間ドライのみで使用した。	水あか防止バルブを洗浄し、セルフクリーニングをおこなってください。 → 23 ページ
水あか防止バルブが汚れている。	水あか防止バルブをクリーニングしてください。→ 26 ページ

考えられる原因	対処方法
アイロンに水あかがたまっている。	水あか防止バルブをクリーニングし（→ 26 ページ）、セルフクリーニング（→ 23 ページ）をおこなってください。
水を入れずにドライのみを長時間使用した。	セルフクリーニング（→ 23 ページ）をおこなってください。

## 状況

### 水タンクに水を入れ終わったらかけ面からスチームが出た

考えられる原因	対処方法
スチーム切り替えレバーが「  」にセットされていない。	水タンクに水を入れるときは、スチーム切り替えレバーを「  」に合わせてください。
水あか防止バルブがきちんとセットされていない。	水あか防止バルブをきちんとセットしてください。

## 状況

### 水が漏れる

考えられる原因	対処方法
ジェットスチームボタンの使用回数が多すぎる。	ジェットスチームボタンを連続使用する場合、少なくとも 4 秒間あけてください。
温度設定レバーがドライゾーンにあるのに、スチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用した。	スチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用するときは、温度設定レバーをスチームゾーンに合わせてください。

## 故障かなと思ったら (続き)

考えられる原因	対処方法
十分な温度になる前にスチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用した。	サーモスタットランプが消えてからスチーム、ジェットスチーム、バーチカルスチームを使用してください。
水タンクに水を入れすぎた。	max マーク以上は水を入れないでください。
水タンクを空にせず保管した。	アイロンかけ後は、20 ページを参考に、必ず水タンクを空にしてから、立てた状態で保管してください。
注水口のふたをしっかりと閉めていない。	注水口のふたはしっかりと閉めてください。

### 状況 粒や粉などがかけ面の穴から出る

考えられる原因	対処方法
セラミックの粉 (10 ページ) か、水道水のミネラル分 (カルキ等) がたまり、排出された。	10 数回ジェットスチームボタンを押して蒸気を出すか、セルフクリーニング (23 ページ) でお手入れをしてください。

### 状況 スチーム穴から茶色の液体が漏れて布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
化学物質が含まれている水あか除去剤を使用した。	水タンク内の水に水あか除去剤を入れないでください。

考えられる原因	対処方法
不適切な水を使用した。	セルフクリーニング (23 ページ) をおこない、12 ページを参照して水道水を入れてください。
繊維が、スチーム穴にたまって焦げてしまう。	セルフクリーニング (23 ページ) をおこない、湿らせたスポンジでかけ面をきれいにしてください。定期的にスチーム穴をクリーニングしてください。
スチーム穴、またはアイロンの本体とかけ面の間に繊維が堆積し、焦げついてしまっている。	ナイロンスポンジなどで、かけ面の汚れを取り除いてください。それでも改善せず、修理をご希望の場合は、修理センターにご連絡ください。

## 状況

### かけ面が汚れる、または茶色くなり、 布地にシミができる

考えられる原因	対処方法
設定温度が高すぎた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● かけ面の汚れを取り除いてください。</li> <li>● 8 ページの「温度設定目安表」を参照してください。</li> </ul>
布地に洗剤やのり、柔軟剤が残っている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>● のりを使用する場合は、あて布をしてください。(11 ページ)</li> <li>● かけ面の汚れを取り除いてください。</li> </ul>

※ かけ面のお手入れについては、22 ページを参照してください。

## 故障かなと思ったら (続き)

### 状況 かけ面にキズがついたまたは破損した

考えられる原因	対処方法
アイロンを立てずに金属製または凹凸のある台の上に放置、またはジッパーやボタンの上に使用した。	<ul style="list-style-type: none"><li>● アイロンは常に立てた状態で保管してください。</li><li>● ジッパー上の使用は避けてください。</li><li>● かけ面の交換や修理が必要な場合は、修理センターにご連絡ください。</li></ul>
研磨剤や金属パッドでかけ面を清掃した。	

### 状況 かけ面からゴミが出る

考えられる原因	対処方法
水あかがかけ面についている。	セルフクリーニング (23 ページ) をおこなってください。

### 状況 ワンタッチスプレーが出ない

考えられる原因	対処方法
水タンクに十分な水が入っていない。	<ul style="list-style-type: none"><li>● 水タンクに水を入れてください。</li><li>● 最初はスプレーが出にくいことがあります。10～20回ボタンを押してください。</li></ul>



# 仕様

製品名	アルティメット
製品番号	FV9751J0
電源	100V 50-60Hz
定格消費電力	1400W
温度ヒューズ	390℃
本体サイズ (cm)	(幅×長さ×高さ) 約 15.5 × 32.0 × 16.0
本体重量	約 1.7kg
コード長さ	約 2m
タンク注水量	320mL

## 機能

イージーコードシステム	●
オートクリーンかけ面	●
ジェットスチーム	●
ワンタッチスプレー (霧吹き)	●
パーチカルスチーム	●
水あか防止バルブ	●
水漏れ防止機能	●
自動停止安全機能	●

※ 仕様、デザインは変更になることがありますので、ご了承ください。

Made in France

## 愛情点検

●長年ご使用のアイロンの点検を!



### こんな症状はありませんか

- 電源プラグ・コードに損傷が見られる。
- 使用中に電源プラグ・コードが異常に熱くなる。
- かけ面や取っ手が異常に熱い。
- 電源コードを動かすと通電したりしなかったりする。
- 焦げくさいにおいがする。
- その他の異常・故障がある。

### ご使用中

事故防止のため、使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜き、必ずグループセブジャパン修理センターに点検・修理をご相談ください。